

事務事業名	大東公園管理事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課スポーツ文化振興室
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	スポーツ文化振興G	課長名 原田 憲一
	施策名	〈30〉生涯スポーツの振興		担当者名	原田 憲一	電話番号 0854-40-1073 (内線) 2241
	目的対象	市民	意図	生涯を通じて、スポーツや運動に親しみ、スポーツや運動を楽しみ、支える。		
	基本事業	〈088〉スポーツ環境の充実		予算科目	0:1:5:0:0:1 3:0:1:0:0:2	大事業名 体育施設管理事業 中事業名 大東公園管理事業
目的対象	市民	意図	スポーツ活動に親しむ。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	施設を利用することにより、体力の向上、健康増進等が図られ、交流を通して人づくり・地域づくりに繋げる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大東公園の施設管理運営(指定管理施設)</li> <li>・基本協定及び年度協定に基づく指定管理委託料の支払い</li> <li>・施設管理業務に関わる指定管理者との協議</li> <li>・修繕が必要となった場合の予算措置、契約 など</li> </ul>
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①指定管理料算定事務 ②指定管理料支払い ③協議 ④年度協定締結業務 ⑤修繕対応	指定管理施設の管理のみではなく、施設を利用した事業が行われ、施設の有効活用が図られている。H26年度に体育館の耐震診断を行ったところ、耐震補強が必要であると判断し、H28～H29年度で耐震化工事を行った。令和元年度からは丸子山公園を指定管理の範囲に加えた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 施設利用者数	人	48,162	35,775	39,973	45,000
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
委託料	9,603千円(指定管理料)	財源内訳	国庫支出金	千円				
使用料及び賃借料	712千円		県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	10,403	10,736	10,315	10,285
計	10,315千円		事業費計	千円	10,403	10,736	10,315	10,285

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	(株)キラキラ雲南と指定管理協定により体育館・野球場・テニスコート・多目的広場・丸子山公園の施設管理を行っている。スポーツに関する自主事業を実施し、利用者からは一定の評価を得られている。
② 事業実施するうえでの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度を導入したことにより事務量の軽減に繋がっている。また、令和元年度からは丸子山公園についても協定の対象施設としている。各施設とも指定管理者により適切な管理・運営が行われている。</li> <li>・老朽化している施設があり計画的な修繕が必要となる。</li> <li>・大東公園多目的広場においては、サッカー利用の施設としての修繕が地域及び関係団体から求められている。</li> </ul>
③ 課題解決に向けた改革改善等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者制度を導入しており、事務量・事業費ともにスリム化は十分に図られている。</li> <li>・施設管理は指定管理者によって適切に行われており、利用率も高い。</li> <li>・施設は老朽化が進んでいるため、計画的に改修・修繕を行なうことで利用者のさらなる増加が期待できる。</li> </ul>